



マイ・タイムライン教室の内容 (津南中学校の実施例)

- 1時間の授業を3週連続で行います。 ※ 2週連続の構成に変更することも可能です。
- 第1回と第2回授業の終わりに、家族と一緒に避難行動について考える宿題を用意しています。

時間	第1回 自分が住む地域の特徴と、ハザードマップを学ぼう	第2回 警戒レベルの意味を理解し、豪雨時に得るべき情報を調べよう	第3回 マイ・タイムラインを仕上げよう
0:00 0:05 0:10 0:15 0:20 0:25 0:30 0:35 0:40 0:45 0:50	<p>授業のねらい 身近な災害リスクを認知し、マイ・タイムラインの必要性を理解する。</p> <p>準備するもの ●マイ・タイムライン (全3回に渡って使用) ●洪水ハザードマップ ●土砂災害ハザードマップ ●映像機器 (PC・プロジェクター・スクリーン) など</p> <p>①目的・3回の流れ 授業の目的と全3回の流れを説明します。</p> <p>②地域の特徴 人口や地形・産業など、地域の特徴を説明します。</p> <p>③過去の災害と防災施設 大雨や台風、土砂災害など、過去に発生した災害と、災害を防ぐための防災施設を紹介しします。</p> <p>④災害から生き抜く方法 災害で犠牲者が出た事例を紹介し、逃げ遅れてしまう理由と災害から生き抜く方法を説明します。</p> <p>⑤ハザードマップの見方 浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの見方を解説します。</p> <p>洪水・土砂災害ハザードマップを確認しよう! 洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップを見ながら、マイ・タイムラインに記載してある以下の項目を記入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あなたの家は浸水区域に入っていますか? ●あなたの家はどの区域にあてはまりますか? ●あなたの避難場所はどこですか? <p>【宿題】 家族の方と、避難に時間がかかる人がいるか、非常持出品は何かを確認します。</p>	<p>授業のねらい 危険をみずから察知し、率先して避難行動することの重要性を理解する。</p> <p>準備するもの ●避難行動組合せゲーム表/カード ●ワークシート ●タブレット端末 (通信機能付き) ●宿題シート ●映像機器 (PC・プロジェクター・スクリーン) など</p> <p>①目的・3回の流れ</p> <p>②水害・土砂災害のしくみ 洪水や浸水害が発生するしくみを動画で解説します。</p> <p>③警戒レベル、避難情報、避難行動の組合せゲーム 警戒レベルに応じた各種情報 (河川情報、気象情報、避難情報) と避難行動の組合せを考えるゲームをします。</p> <p>④避難行動につながる情報の調べ方 『新潟県河川防災情報システム』などで、情報を収集する方法を紹介しします。</p> <p>避難行動につながる情報の調べ方を学ぼう! 実際にタブレット端末を使用して、ワークシートに記載してある以下の情報を調べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の雨量、河川の水位 (新潟県河川防災情報システム) ●河川の名前、洪水の危険度 (NHK あなたの天気・防災) ●土砂災害エリアのメッシュ番号 (新潟県土砂災害警戒情報システム) <p>避難行動につながる情報の調べ方を動画で紹介しします! 避難のために必要となる情報の見方や、タブレット端末の使い方を解説する動画を新潟県のホームページで紹介しています。</p> <p>【宿題】 自宅から避難場所までの移動時間を手段別に調べます。家族の方と、避難前に必要な準備や避難のタイミングを考えます。</p>	<p>授業のねらい 具体的な行動内容を考え共有し、自助意識・共助意識を育む。</p> <p>準備するもの ●グループワーク表/記入用マジック ●映像機器 (PC・プロジェクター・スクリーン) など</p> <p>①目的・3回の流れ</p> <p>②避難行動の注意点 (〇×ゲーム) これまでの学習内容の復習を兼ねて8問程度の〇×ゲームを行います。</p> <p>避難の準備や避難時の注意点を共有しよう!</p> <p>A. グループワーク表の記入 各班で以下の3つの内容について、話し合って表にまとめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難する前の準備 (第2回宿題をグループで共有) ●避難時の注意点 (考える際のヒントを準備しています) ●災害から身を守るために自分たちができること (逃げ遅れないために、日頃や日常からできることを1つ以上意見を出す) <p>B. 成果の発表 各班の代表者が、成果を発表します。</p> <p>C. マイ・タイムラインの仕上げ 各班の成果の発表を聞いて、自分のタイムラインに必要なと思ったことを追加して、マイ・タイムラインを仕上げます。</p> <p>③「助けられる側」から「助ける側」へ 災害時に、中学生が「助けられる側」から「助ける側」になった参考事例を紹介しします。</p> <p>【記念撮影】 最後に、作成したマイ・タイムラインを持って記念撮影をします。</p>

①避難する前の準備	
②避難時の注意点	
③災害から身を守るために自分たちができること	

